

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 6 月 22 日

【発行】横浜市国際局政策総務課

企画担当 045-671-4710

ki-somu@city.yokohama.jp



【2013年横浜にて第5回アフリカ開発会議の様子】
外務省提供

第7回アフリカ開発会議 (TICADVII)の横浜開催が決定 しました

6月16日、「第7回アフリカ開発会議は2019(平成31)年に横浜で開催する」ことが政府から発表されました。

横浜開催の決定について林市長は、「過去2回のアフリカ開発会議開催によって培ってきたアフリカとの技術協力、市民交流などの取組を土台に、「アフリカに一番近い都市」として、会議の成功に確実に貢献し、アフリカとの絆を一層深めてまいります。」とコメントしました。

※アフリカ開発会議は2008年の第4回、2013年の第5回が横浜で開催され、第5回会議では39名の元首・首脳級を含むアフリカ51か国の代表など4,500名以上が参加し、日本政府が主催する最大規模の国際会議となりました。



第5回アフリカ開発会議の際、一校一
国運動でマラウィ料理を学ぶ小学生

アメリカ・カナダ大学連合日本 研究センターで卒業発表会が行 われました

6月6日から7日にかけて、横浜国際協力センターに拠点を置くアメリカ・カナダ大学連合日本研究センター(IUC)にて、卒業発表会が開催され、10ヶ月間にわたって上級日本語を学習してきた卒業生45人が日本の経済や政治、文化、建築など、様々な専門分野について日本語で発表しました。



同センターは、一定の日本語能力を有し、政府機関職員や実業家、学者を目指す大学院生を主な対象に、専門分野で必要な語学スキルとコミュニケーション力を習得させる10ヶ月の上級日本語教育プログラムを提供しています。同センターの卒業生には日本文学の研究者であるロバート・キャンベルさんもいらっしゃいます。

テルアビブ大学副学長が横浜市を 訪問しました

イスラエル・テルアビブ・ヤッフオ市からラアナン・ラインテルアビブ大学副学長が6月7日に横浜を訪問され、横浜市の関山国際局長と面会しました。



横浜市はテルアビブ・ヤッフオ市と平成24年9月に共同声明を行っており、関山国際局長はライン副学長と、今後の連携の交流の可能性について意見交換しました。

